

IdP Clustering



本ページの記述はIdPv2に対するものです。IdPv3に関しては [Shibboleth IdP 3 > クラスティング設定](#) をご覧ください。

認証基盤の冗長化に関する全体的な情報(PDF)

(学認CAMP 2013における発表資料)

[IdP Clustering-CAMP2013.pdf](#)

- [Shibboleth-IdP冗長化環境構築手順書 \(Stateless Clustering編\)](#)
認証済みセッション情報をcookieやID(Transient ID)に埋め込むことにより、Shibboleth IdPを冗長化する方法です。
- [Shibboleth-IdP冗長化環境構築手順書 \(memcached編\)](#)
認証済みセッション情報をrepcached(memcached)に置くことにより、Shibboleth IdPを冗長化する方法です。
- JDBCを使った冗長化は調査中です
- [Shibboleth-IdP冗長化環境構築手順書 \(Terracotta編\)](#) (金沢大学提供)
Tomcatの汎用的な冗長化ソフトウェアを用いて、Shibboleth IdPを冗長化する方法です。



TerracottaのDSO mode (上記冗長化で使用しているモード) は、Java 7には対応しないという情報があります。ご注意ください。
Shib Users ML: <http://marc.info/?t=136966546300004&r=1&w=2>

- [Shibboleth-IdP冗長化パフォーマンス比較試験報告書](#)
上記3つの方式を比較しています。
- [IdPクラスタ向けセッション固定方式 - Sticky Login](#)
- [冗長化済みLDAPサーバに対する設定方法](#)
LDAPサーバは別途すでに冗長化されている場合、そのLDAPと接続するための(個別ノード名を列挙する方式の)設定方法の解説です。
- 以下の情報はIdP冗長化に向けて書いたものではありませんが、IdPの冗長化にも適用可能と思われるのでご参照ください。
 - [DNSの委任\(delegation\)を用いたDSの広域分散](#)